

Fc 領域を狙い撃ち！部位特異的に抗体を標識できます

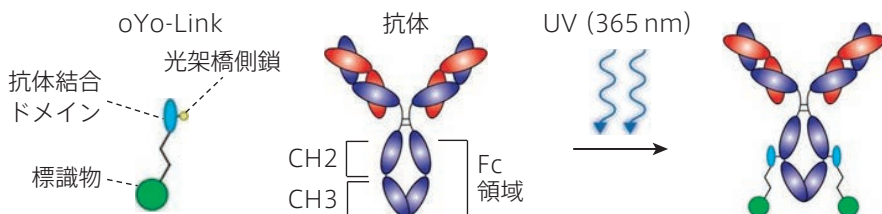
抗体ラベリング試薬 oYo-Link

部位特異的な抗体標識試薬です。実際の操作時間はわずか 30 秒で、オリゴヌクレオチド（一本鎖または二本鎖）、クリックケミストリータグ（アジド、DBCO など）、ビオチン、細胞傷害性薬物などの標識物を **部位特異的（Fc 領域、最大 2 カ所）** に標識できます。

脱塩や濃縮、抗体精製など反応前後の操作も基本的に必要ありません。

製品ラインナップ → p.15~16

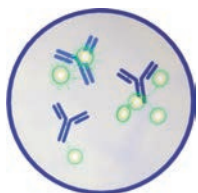
操作方法概略



- ① oYo-Link を抗体と混合（約 30 秒）
oYo-Link 中の抗体結合ドメインが抗体の Fc 領域と結合。
- ② UV を照射*1（2 時間）*2
架橋反応（共有結合）が起こり、抗体の Fc 領域に標識物が最大 2 か所標識される。

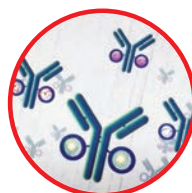
*1 UV 照射には専用の UV リンカー（別売、下記参照）が必要です。2 週間の貸し出しデモを実施しています。詳細はフナコシ Web をご覧ください。
*2 メーカーでは oYo-Link を用いて標識した抗体の UV 照射（365 nm、ブラックライト）による影響を確認していますが、抗体の結合能への影響は確認していません。

ここがすごい



- 従来の抗体標識キット
- ✓不均一な標識
（部位がランダム、複数の標識物がラベリングされてしまう）
 - ✓抗原結合部位に標識されうる
（抗体活性に悪影響を及ぼす）

市販の抗体ラベリング試薬の多くは、抗体のリジン残基側鎖のアミノ基（-NH₂）を介して抗体を標識します。しかし抗体には多くのリジン残基が存在し、抗体ごとにリジン残基の数と位置が異なるため、標識が部位非特異的になり、不均一に生じます。そのため、ELISA などイムノアッセイの際の抗体の配向性はランダムになります。



- oYo-Link（オヨリンク）
- 均質な標識抗体が得られます！
 - ✓Fc 領域に**部位特異的なラベリング**が可能
 - ✓抗原結合部位（可変部位）に影響しない
 - ✓**最大 2 カ所**に標識（重鎖毎に 1 つずつ）

oYo-Link は抗体の Fc 領域のみに最大 2 カ所、共有結合で標識します。抗体の抗原結合部位に影響を与えないため、実験の信頼性と再現性が向上します。また、ELISA などイムノアッセイの際の抗体の配向性を均一にし、抗原結合部位の密度の改善をもたらすことによって、感度を向上させる可能性があります。

別売品 専用 UV リンカー



2 週間の貸し出しデモを実施しています。詳細はフナコシ Web をご覧ください。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
LED PX2 Device	ATH	AT8001-D	1 unit / 110,000

別売品 抗体と結合していない未反応の oYo-Link を除去する磁気ビーズ

[Web ページ番号 : 71014]

oYo-Link 試薬は極めて高効率に抗体ラベリングを行えるため、通常のイムノアッセイでは抗体精製のステップは不要です。本製品は、高感度アッセイを行われるお客様向けの製品です。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
oYo-Capture Magnetic Beads	ATH	AT8101-10	10 tests / 84,000

製品ラインナップ

oYo-Link には、マウス IgG₁ 用とその他の抗体（ヒト IgG₁₋₄、マウス IgG_{2a}、IgG_{2b}、IgG₃ など）用の 2 種類の製品があります。

※マウス IgG₁ 用製品はマウス IgG₁ 以外では使用できません。他の動物種については、共通して試薬を使用できます。



→ p.16

→ p.16

oYo-Link ビオチン/oYo-Link HRP

■マウス IgG₁ 標識用

[メーカー: ATH]

タグ	標識可能な抗体量	商品コード	包装	価格(¥)
Single-Biotin	100 µg	AT4001-mIgG1-100	1 order	72,000
HRP	100 µg	AT6002-mIgG1-100	1 order	84,000

■その他の抗体標識用

[メーカー: ATH]

タグ	標識可能な抗体量	商品コード	包装	価格(¥)
Single-Biotin	100 µg	AT4001-100	1 order	72,000
HRP	100 µg	AT6002-100	1 order	84,000

oYo-Link クリックケミストリータグ

■マウス IgG₁ 標識用

[メーカー: ATH]

タグ	標識可能な抗体量	商品コード	包装	価格(¥)
Thiol	100 µg	AT3001-mIgG1-100	1 order	72,000
Azide	100 µg	AT3002-mIgG1-100	1 order	72,000
Azide/TAMRA	—	—	—	—
DBCO	100 µg	AT3003-mIgG1-100	1 order	84,000
Tetrazine	100 µg	AT3004-mIgG1-100	1 order	72,000

■その他の抗体標識用

[メーカー: ATH]

タグ	標識可能な抗体量	商品コード	包装	価格(¥)
Thiol	100 µg	AT3001-100	1 order	72,000
Azide	100 µg	AT3002-100	1 order	72,000
Azide/TAMRA	100 µg	AT3002-TAMRA	1 order	84,000
DBCO	100 µg	AT3003-100	1 order	84,000
Tetrazine	100 µg	AT3004-100	1 order	72,000

oYo-Link エピトープタグ

■その他の抗体標識用

[メーカー: ATH]

タグ	標識可能な抗体量	商品コード	包装	価格(¥)
His12 Tag	25 µg	AT2002-25	1 order	24,000
DYKDDDDK Tag	100 µg	AT9002-100	1 order	72,000
V5 Tag	25 µg	AT9003-25	1 order	24,000
S Tag	25 µg	AT9004-25	1 order	24,000
VSV-G Tag	25 µg	AT9005-25	1 order	24,000
NWS Tag	25 µg	AT9006-25	1 order	24,000
S1 Tag	25 µg	AT9007-25	1 order	24,000
AU1 Tag	25 µg	AT9008-25	1 order	24,000
AU5 Tag	25 µg	AT9009-25	1 order	24,000
HSV1 Tag	25 µg	AT9010-25	1 order	24,000

※上記エピトープタグ 25 µg包装の製品は、一度のご注文時に4製品以上

(任意の組合せが可能)のご注文が必要です。

※ DYKDDDDK Tag (25 µg) の製品#AT9002-25もあります。

↓ココを選択!

Web ページ番号検索

SEARCH

各記事右上の Web ページ番号を入力

検索

各製品の詳細は、アナコシ Web のタブから簡単に検索できます!

FAQ



- Q. 標識が成功したかはどうに確認すればよいですか?
- A. SDS-PAGE で確認できます。メーカーサイトの各製品ページの Supporting data に例がありますので、ご参照下さい。
- Q. UV 照射 (365 nm) は、抗体や抗体の機能に影響ないですか?
- A. oYo-Link を用いて標識した抗体と未標識抗体を用いた ELISA および cell binding assay で結合試験を行っており、結果に違いは確認されていません。なお、一般的にクリーンベンチなどで用いられている UV 光 (波長: 250 nm) は抗体にダメージを与えます。oYo-Link を用いた抗体標識では推奨波長 (365 nm) 以外の UV 光は照射しないで下さい。
- Q. 標識後、未反応の oYo-Link は除去した方がよいでしょうか?
- A. ほとんどのイムノアッセイの実験で使用する場合、標識後の抗体の精製は不要です。メーカーの標準プロトコルでは、oYo-Link と抗体とのモル比は 5 : 1 です。この条件で反応を行うと抗体の標識効率 は最大限となります。
※高純度の標識抗体が必要な場合は、p.14 に掲載の oYo-Capture Magnetic Beads (#AT8101-10) をご利用下さい。

